



同時発表：岩手県県政記者クラブ・宮城県県政記者クラブ

記者発表資料

平成20年 6月20日

国土交通省河川局砂防部

土砂災害危険箇所点検緊急支援チームの活動結果（報告）

「平成20年岩手・宮城内陸地震による被災地域の
土砂災害危険箇所等の緊急点検結果について」

平成20年岩手・宮城内陸地震に伴い、土砂災害の危険性が高い地域を対象として、「土砂災害危険箇所点検緊急支援チーム」が実施していた「土砂災害危険箇所等の緊急点検」が19日に終了したので、その調査結果を報告します。

問合せ先

国土交通省砂防部砂防計画課

課長補佐 佐藤 保之（内 36142）

火山・土石流対策係長 相沢 幸治（内 36-154）

03 - 5253 - 8111

1．点検の目的

平成 20 年岩手・宮城内陸地震に伴い、今後の降雨等により土砂災害発生危険性が懸念されることから、2 次災害防止等に役立てることを目的として実施しました。

2．点検期間

6 月 15 日（日）～ 19 日（木） の 5 日間

3．実施体制

岩手県関係職員（ボランティア団体等を含む）40 人と宮城県関係職員 5 名、宮城県・岩手県知事からの国土交通省大臣への要請に基づき、国土交通省職員（TEC - FORCE）113 人（本省砂防部、北海道開発局、東北・関東・北陸・中部地方整備局、国土技術政策総合研究所）、7 県の職員 54 人（青森、秋田、山形、福島、栃木、群馬、新潟県）から構成された「土砂災害危険箇所点検緊急支援チーム」により実施しました。（現地本部は国土交通省岩手河川国道事務所一関出張所に設置。）【総数：約 212 名】

4．実施範囲

岩手・宮城内陸地震の震度 5 強以上を観測した地域のうち、宮城県・秋田県が独自に調査を実施する市町村を除く 11 市町村において、土石流、がけ崩れや地すべり等土砂災害の恐れがある箇所のうち、現地に立ち入りが可能な 2771 箇所*を点検しました。

* 今回の調査で新たに確認された危険箇所 32 箇所を含む。また、現地に立ち入りが困難であった危険箇所 31 箇所を除く（当該箇所の住民は避難済み）。

（調査対象市町村）

岩手県 奥州市、北上市、金ヶ崎町、一関市、平泉町
宮城県 栗原市、大崎市、加美町、涌谷町、美里町、登米市

【参考】

秋田県による独自調査を実施した市町村：湯沢市、東成瀬村

宮城県による独自調査を実施する市町村：名取市、仙台市（東部）、利府町

5．点検結果

点検した 2771 箇所のうち、表のように、応急対応する必要があるとされる A ランクの箇所は 20 箇所でした。

なお、点検結果はその後の精査によって変更することがあります。

点検結果は随時、岩手県、宮城県及び両県を通じて各市町村に提供することとともに、応急対策や警戒避難体制を構築するように助言しています。

また、今回の点検結果をとりまとめ、20 日午後に西本晴男現地本部長（国土技術総合政策研究所危機管理センター長）から、宮城県、岩手県、栗原市役所等に報告します。

6．点検結果の対応状況

宮城県及び岩手県は、今回の結果に基づき、市町村と連携して住民に土砂災害に対する警戒を呼びかけるとともに、崩壊土砂の除去や雨水浸透防止のためのシート設置等の応急対策を実施しております。



緊急点検状況（宮城県大崎市鳴子町字岩入）



支援チームからの助言（一関出張所）



応急対策状況（岩手県奥州市衣川区大平）

土砂災害危険箇所等の緊急点検結果

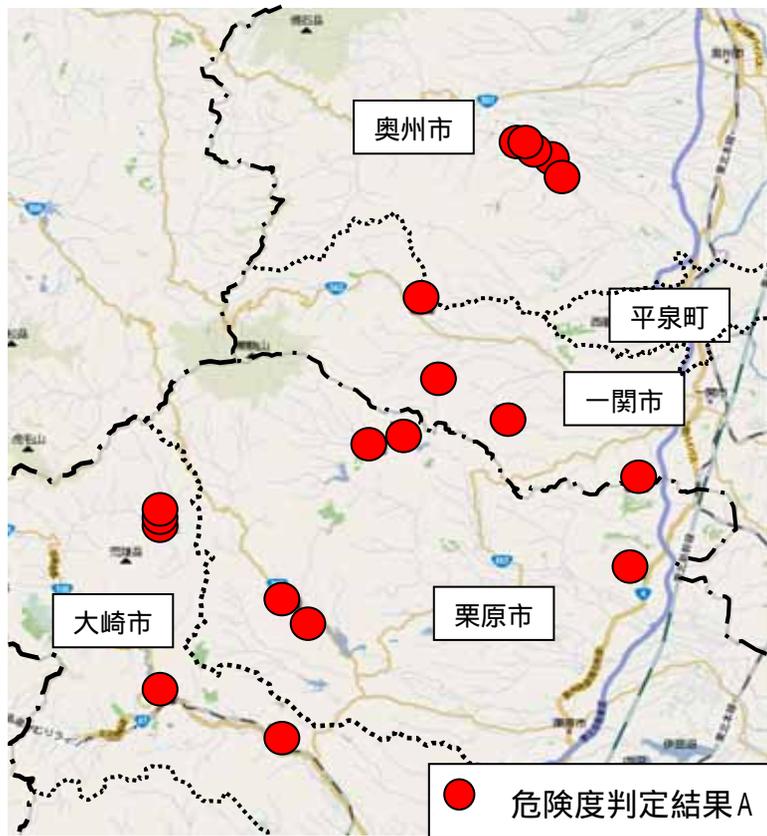
都道府県名	市町村名	土砂災害危険箇所数	今回の緊急点検により新たに確認された危険箇所	点検した箇所数	危険度判定結果						備考
					A		B		C		
					うち、新たに確認された危険箇所		うち、新たに確認された危険箇所		うち、新たに確認された危険箇所		
岩手県	奥州市	944	5	943	6	2	29	2	908	1	震度6強
	北上市	270	0	270	0	0	0	0	270	0	震度6弱
	金ヶ崎町	64	0	64	0	0	4	0	60	0	震度5強
	一関市	274	2	271	3	0	16	0	252	2	震度5強
	平泉町	97	0	97	0	0	3	0	94	0	震度5強
	計	1649	7	1645	9	2	52	2	1584	3	
宮城県	栗原市	518	15	513	6	1	42	7	451	7	震度6強
	大崎市	446	10	456	5	2	13	5	438	3	震度6弱
	加美町	15	0	15	0	0	0	0	15	0	震度5強
	涌谷町	87	0	87	0	0	0	0	87	0	震度5強
	美里町	7	0	7	0	0	0	0	7	0	震度5強
	登米市	48	0	48	0	0	5	0	57	0	震度5強
計	1121	25	1126	11	3	60	12	1055	10		
岩手県・宮城県計		2770	32	2771	20	5	112	14	2639	13	

危険度判定結果

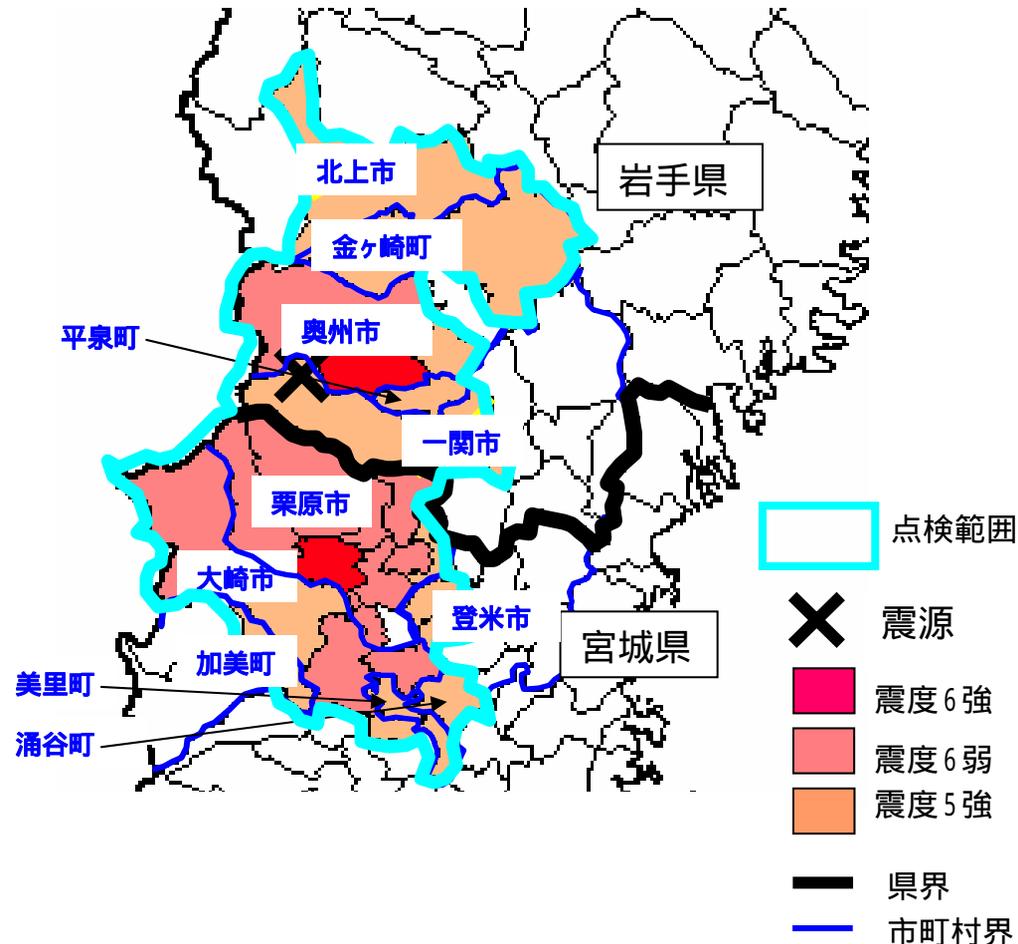
A:直ちに応急対策が必要な箇所 B:二次点検後対策を決定する箇所 C:緊急性が低い箇所

土砂災害危険箇所等の緊急点検結果(危険度判定結果A)

- 1.点検期間 平成20年6月15日(日)～6月19日(木)
- 2.点検範囲 岩手県および宮城県 震度5強以上の地域
- 3.点検対象箇所 土砂災害危険箇所(2,770箇所)及び周辺地域
- 4.点検体制 岩手県(40名)、宮城県(5名)
緊急支援チーム:国土交通省(本省、国総研、北海道開発局、東北・関東・北陸・中部地方整備局) 県(青森県、秋田県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、新潟県) :167名[計212名]



危険度判定結果A(20箇所)の分布



宮城県

番号	土砂災害の種類	危険箇所名	市町村名	旧市町村名(震度)	字名	概要	支援チームからの提言	県・市の対応状況
1	急傾斜地崩壊	上吉目木	栗原市	金成町(6弱)	字有馬	D=30~40cmの落石が多数発生し、人家付近まで届いている。また、斜面にはD=1m程度の浮石が残っている。	・大型土のうの設置 ・斜面に残存する浮石の除去 ・側溝を埋塞している土石の除去 ・降雨時等の警戒避難体制の整備	・対象家屋1戸の住民に危険な状況について周知 ・崖側の居室に立ち入らないよう指導 ・市が崖下に第三者が立ち入れないようにバリケードを設置
2	急傾斜地崩壊	日向田の2	栗原市	金成町(6弱)	字日向田	盛土擁壁にL=3mの亀裂及びはらみ出しが生じているとともに、盛り土上部にはL=5m、W=7cm、D=5cmのクラックが生じている	・クラック拡大防止のためのシート張りの設置 ・崩壊防止のためのブロック積工全面における大型土のうの設置 ・降雨時等の警戒避難体制の整備	・対象家屋1戸の住民に危険な状況について周知 ・倒壊しそうな擁壁の付近へ立ち入らないよう指導 ・倒壊の恐れがある擁壁に対し、市が第三者が立ち入れないようにバリケードを設置
3	急傾斜地崩壊	金沢	栗原市	花山村(6弱)	字本沢金沢	人家裏斜面にL=30m、W=15cm、D=50cmの亀裂が発生している。	・クラック拡大防止のためのシート張りの設置 ・降雨時等の警戒避難体制の整備	・対象家屋1戸に避難勧告済み ・住民は避難済み ・市がシート張りを準備中
4	土石流	金沢	栗原市	花山村(6弱)	字金沢	流域内で2カ所の崩壊が見られ、1カ所は人家まで土砂が到達している状態	・崩壊地への雨水浸透を遮断し、拡大崩壊を防止 ・降雨時等の警戒避難体制の整備	・対象家屋3戸に避難勧告 ・住民は避難済み
5	地すべり	日影森	栗原市	栗駒町(6弱)	字皿亀	地すべりにより市道が交通不能になっている	・降雨時等の警戒避難体制の整備	・市道全面通行止め
6	土石流	栗駒放森	栗原市	栗駒町(6弱)	字放森	山腹崩壊により谷が埋塞し、湛水が始まっている	・掘削による流水断面の確保 ・降雨時等の警戒避難体制の整備	・対象家屋3戸に避難指示 ・住民は避難済み ・掘削により排水路確保済み
7	急傾斜地崩壊	大崎市黒崎山腹崩壊C	大崎市	鳴子町(6弱)	字黒崎	斜面がH=20m、W=30mにわたって崩壊しており、落石が人家に接近している	・落石による人家への影響範囲を検討の上、落石防護工等を設置 ・降雨時等の警戒避難体制の整備	・対象家屋2戸に避難勧告 ・住民は避難済み
8	土石流	上岩入沢	大崎市	鳴子町(6弱)	字岩入	右岸がH=30m、W=50mの規模で崩壊し、溪流に土砂が流入し、その土砂及び流木が渓床にH=1.5~2.0m、L=50mにわたって堆積し、河道を閉塞している	・水路の開削及び倒木の除去 ・降雨時等の警戒避難体制の整備	・市が閉塞土砂を撤去 ・降雨時の住民避難準備完了 (雨が降り始めたら区長が住民を避難場所に誘導する。)
9	急傾斜地崩壊	新屋敷の6	大崎市	鳴子町(6弱)	字新屋敷	既存危険箇所525の西側斜面で、斜面上部にL=15mのクラックが発生し、空石積の擁壁に変状が見られる	・クラック拡大防止のためのシート張りの設置 ・降雨時等の警戒避難体制の整備	・対象家屋の住民は避難済み ・市がシート張り済み
10	急傾斜地崩壊	岩入	大崎市	鳴子町(6弱)	字岩入	人家裏山の斜面上部にL=約30m、深さ約1mの滑落があり、斜面にはらみだしが見受けられる	・滑落部からの雨水浸透防止のためのシート張りの設置 ・降雨時等の警戒避難体制の整備	・市がシート張り済み ・降雨時の住民避難準備完了 (雨が降り始めたら区長が住民を避難場所に誘導する。)
11	土石流	上岩入沢	大崎市	鳴子町(6弱)	字岩入	流域内で4箇所(最大幅20m、最大高さ50m)が発生し、その土砂及び流木が渓床をH=約1m、L=約40mにわたって堆積し、河道を閉塞している	・堆積土砂・倒木の撤去 ・降雨時等の警戒避難体制の整備	・市が排水路を設置して排水済み ・降雨時の住民避難準備完了 (雨が降り始めたら区長が住民を避難場所に誘導する。)